

## R8.1.9 岩船中学校・神林中学校統合推進委員会（第5回）

日時：令和8年1月9日（金） 19:00～20:30

場所：神林農村環境改善センター 視聴覚室・小会議室

出席者：PTA保護者6名・学校運営協議会2名・中学校校長、教頭4名・区長4名・教育委員1名 合計17名

（開会）

（委員長挨拶）

（神林中学校校歌の静聴）

市教委 議題に入る前に、昨年中の会議で委員の方から神林中学校の校歌を聞きたいとご要望がありましたので、本日委員長の了解を取って議事の前に再生する準備しております。準備しましたのは、神林中学校の校歌を作詞作曲された音楽博士平井李枝様で、動画でYouTubeにアップしている3年前ふれあいセンターで発表したものをご用意させていただきました。ピアノ伴奏も平井李枝先生が行っているものです。これから流しますので、よろしくお願いします。

～神林中学校校歌～

市教委 はい。以上、神林中学校の校歌でした。それでは3の議題に入りますけれども、議事進行は委員長にお願いします。

委員長 では議題1 統合中学校の校名についてアンケート結果も出ましたので、そちらの方を事務局から説明をお願いします。

市教委 はい。それでは、新しい校名の決め方アンケート結果が出ておりますので、統合学校名を決めるに当たって、統合の時に中学生になるだろう4年生、5年生、6年生が、どう思っているかを確認したいということでした。岩船小学校 神納小学校 平林小学校にアンケート調査を実施しました。どういう学校名が良いかという選択肢を4つ用意し、1つ目が今ある学校名 岩船か神林かのどちらかを選ぶという選択肢、2つ目が、今ある学校名を合わせる。3つ目が、今の学校名の文字を組み合わせる。4つ目につきましては、今の学校名を引っ張らずに地域をイメージする校名。例としましては、穂波ですとか、緑ヶ丘、海の星と書いて海星といったものを記載して、提案したところでございます。結果としまして、この表にあります通り、トータルで見ますと、4の地域イメージが72人と一番多かった。ついで、1のどちらかの今の学校名が67人という結果でございました。学校別に見ますと、岩船小学校は今の学校名が11人と少なく地域イメージが24人と多かったです。平林小学校も地域イメージが29人で、ついで今の学校名が17人という結果でした。逆に神納小学校では、今の学校名が39人ともっとも多く、地域イメージが19人という結果でございました。こうしてみますと、既存の校名かあるいは、地域のイメージに絞ってもよいのかなと思われまふ。それで前回の会議で新設統合になるので、既存の校名を使うと地域の方が納得できるような理由が必要と事務局から述べたところですが、地域の方が望んでいるのであれば少なくとも校名の選択肢になるべきではないかなと考えを改めさせられた次第でございます。説明は以上です。

委員長 はい。ありがとうございました。事務局から説明がありましたが、2つの考え方に絞

られていきますが、これを受けて、いろいろご意見いただきたいと思いますが、委員の皆様から、意見のある方は挙手をお願いいたします。

委員長 ご意見なければ、この①、④の2つをまず選択肢にまず絞るといような形で、進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

推進委員 はい。

委員長 まず、①の中には神林中・岩船中という、当然名前が違うということできます。④、地域イメージについては先ほど事務局から話がありました穂波中と今のところ、前回の委員の中から選ばれたのは、あと緑ヶ丘、海星といったところができますでしょうかね。それと、事務局から何かありますか。

市教委 前回の会議の中に、資料をお付けしたんですけど、みなさんお持ちでしょうか。候補になるものが、その中にある訳ですので皆さんのご意見を聞きながら絞っていかれば、よろしいかなと思いますが、前回の資料を持ってない方いらっしゃいましたら、お配りしますが、よろしいでしょうか。

委員長 穂波中が、数多く皆さん選んでいらっしゃる。その他に事務局から「緑ヶ丘」でしょうか。「海星」、「蒼岳」とか「ひかり」とかありますけど、あんまり広げて前に出た候補まで入れてしまうと、議論が拡散してしまうので、本当に皆さん委員から出た中で、この中で一番多いものか、また2つ目に多いところを絞っていくと穂波と、海星が2つぐらいですね、この辺りかと思いますが、新しい地域イメージの④の候補として考えた場合は、穂波プラスどれかというところで、皆さん、もしご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。穂波一本でこだけ考えていくべきか。皆さんから出た海星ですとかそういったもの入れて考えていくべきか。

推進委員 ちょっと、ごめんなさい。個人的な意見かも知れないのですが、穂波というと、何となくこだわる訳ではないのですが、岩船の方のイメージが無いんですけど、いわゆる稲のイメージしかないものだから、波というのは岩船にあるよというのだけれど、どうもピンと来ないなと思います。

委員長 いいですけどそうした場合、対案をちょっと欲しいんですね。

推進委員 だから、それがね。この前は、海星も一つあるよと言いましたけど、もう一つ地域イメージですよ。地域のイメージとなると、なんかもう一つ無いのかな。要は、こっちの1番と4番の1番の、要は昔から岩船郡というふうなところで取ってきた。そういうのも1つのイメージなのかなと思うんですけど。

委員長 何か候補から出てきてないものを、ここに今出してしまうと、公募をやった意味が無くなってしまいますので。

推進委員 いや、でも今の地域になるってことですから。

委員長 皆さんがこれ出したときは、その公募の中からどれが良いという事で、選ばれた訳ですよ。

推進委員 そうですか。

委員長 選択肢として、ここにも出てきてないものを挙げるとなると、元の全てを1から選ぶことになり、その公募中の全てを選択することになってしまうので、議論が戻ってしまうという話です。

推進委員 これ学校の子供たちにアンケートを出した時は、こういう穂波だとか何とかってこう分類を4の地域イメージにつけて、示してあるのか。

市教委 事例として。

推進委員 例として、こういうものがあります。それを見て、地域のイメージとして、ここに投票した。数が多くなってるっていう意味は、そういう意味合いもあるわけですよ。ただ、私も聞いてると思うんですけども、地域のイメージというよりも、どこにもあるようなイメージですよ。その穂波とか海星とかね、稲穂とかね、そういうふうなものをイメージして、波とかイメージして岩船だとかって、この辺では思うかもしれませんが、山形でも、秋田でも平野と海があれば、つけられるような名前で、これ地域のイメージといえるのかな。先ほど委員が言うようにね。そうすればその一番の方のどちらかの校名も、イメージ的には含まれるというのであれば、私も前から言ってるように、歴史だとか、この辺も踏まえて岩船という、昔からこの辺岩船町駅もここにある、そこから一本行けばすぐそこに神林中学校ですけども、そこが岩船中学校になっても、何かイメージ的には良いような気がするんですよ。ただ、その辺も踏まえて1とかじゃなくて、4のイメージだけでここで示された海星だとか穂波だとか絞っていかなくても、岩船とか神林も残したい人も数多くいるわけですから、子供たちの中ではね。その辺も踏まえてもう少し議論してもいいのかなと思います。

委員長 そもそも既存の中学校として、今残した状態です。今4の地域イメージのところが、拡散してしまうと、議論できない。神林中学校と岩船中学校を無しにするというのではなくて、今第1ここの岩船中学校、神林中学校を残しつつの、4の候補で何を候補とするか。

推進委員 とりあえず4のところを絞りこもうと。

委員長 今1の候補の話をしてしまうと、なかなか皆さん思いがあると思います。

推進委員 そういう意味であれば。

委員長 4のところを、今たくさんあった公募の中、皆さんからご意見いただいたわけですから、その後4のところを絞らないと、最終的にこの①④の中でまた議論していこうと思いますので、4の方でいくつか。1つか2つ。地域イメージですと、どれだというところを皆さんご意見いただきたいなと思います。

推進委員 確認なんですけど、子供らのアンケートの4番、地域イメージの具体的な何か名前は入れたと言いましたか。

市教委 地域イメージの例として。

推進委員 ある程度、これとか一応素案は入れた中でのアンケートなんだ。

市教委 地域イメージの例として、穂波中学校、緑ヶ丘中学校、海星中学校などを。

推進委員 入れたんですね、具体的にはね。

市教委 はい。

推進委員 前回の会議で今の2番3番を、無しっていう考えみたいになっていますので、あくまでも、このアンケートは参考にしましょうということを言われたように記憶しておりますので。

委員長 先ほど、それで絞りこんでよろしいですかと話させてもらったと思うんですけど、①と④でいいですかと、その時に、良いと言っていたかと。

推進委員 ①と④で、どちらでもいいんですかという言い方ですけど。

委員長 皆さんから反応が無かったので、絞ってよろしいでしょうか。

推進委員 その時に、今の意見を言いそびれたのですが、1か2、2か4かとかそういう世界になってしまうのですかね。あくまでも、この地域イメージであれば穂波中学校にしましょう緑ヶ丘にしましょうを決めるのを委員長が言われたのは、私はそれでいいと思うんですけど。

委員長 私、すみません話させてもらったんですけど、1と4が多かったんですね。

推進委員 多数決で決めないような言い方をされたように、あくまでも参考にということで小学校からのアンケートは、数でするのではなくて、あくまでも参考にするための数とりだと記憶しているのですけど。

委員長 議論を戻しましょうか。

副委員長 前回、私がこれをお願いしたお話にもう一回戻りますけど、子供達が何を求めているのかを知りたかった訳です。子供達の意見を名前に落とし込みたかったというところを出していただいたアンケートが、いままで馴染みのある学校名が、総数67人それとはまた別に伝統文化という昔からの名前を大事にしていきたいのか、新しいステップを地域じゃなくて3校合併するところで、子供達大きく見てくれるのか、知りたいので、前回これをやらせてくださいとお願いしました。そして出てきた結果が、こういう形になったんです。私の中では、こういう考え方なんだということで、落としているので、後皆さんには私のわがママがあった部分ではあったので、いろんなご意見はあろうかと思うんですけど、前回の話のところでは、これから子供達を通う中学校の名前を子供達が、どうしたいのかを聞きたいところで、私が前回お話しさせてもらったと思うんですね。

推進委員 それは、記憶しております。

委員長 それを踏まえて、考え方としては4種類ありますけども、①④が②③に比べれば多いと言うことで、①④で絞っていった方がよろしいでしょうか。ご意見をお聞きしたところ、先ほどご意見がありませんでしたので、それでは二つにしますとしたところ、異議なしとのことでしたので①④とさせてもらいました。ここまで、よろしいでしょうか。

推進委員 このアンケートの地域イメージというのは、先ほどの穂波とか何とかなどと、1番の今の中学校名というのは、岩船か神林かどちらかですよと書いてありますか。

市教委 例を全部読み上げますね。1の今のどちらかの今の学校名を使う。例は岩船中学校、神林中学校のどちらか。2の今の学校名を合わせる。例として、岩船神林中学校、神林岩船中学校など。3の今の学校名の文字を組み合わせる。例として、岩神中学校、神船中学校など。4の地域イメージ。さっき言ったとおり、穂波中学校、緑ヶ丘中学校、海星中学校などの記載でアンケートを出させていただきました。

委員長 1、4という話で、どうかというところまで私は話をさせてもらったと思うのですが、それをもう一度というのであれば、この話を戻さなければいけないと思うのですが、先ほど聞いたところではありますけども、もう一回戻りましょうかそこまで

推進委員 子供達がこれを見て、こうしたいと副委員長から話があったんですけど、子供達の考えを尊重していいんじゃないかなと思います。もちろん皆さん地域に対する思いがあるかも知れないですけど、でも通うのはこれからの子供達だと思いますし、それを皆さん新しく変わった名前を大事にすると思いますので、私は1か4のどちらかの候補で挙げてもいいんじゃないかなと思います。

推進委員 1か4という話だとすると、4の方で3つ位挙がっている訳じゃないですか。これを1つに絞り込みたいということですか。

委員長 1つが良いか。ここに出てたもので絞り込んで、その①の神林、岩船と地域イメージの方の穂波と海星と例えば4候補で議論していったらどうかと。

推進委員 議論は大事だと思うんですけど、決めなければいけない訳ですから、決め方はどういう風なイメージで、例えばここにいる委員で投票して、一番多いものを選ぶ。過半数を超えたものであればそれでいいですけど、過半数を超えなかったら上位二つ決選投票でやっていくのか。村上第一中学校は、中々白熱していたという話は聞いているので、議論していても平行線のところは交じり合わないと思います。

委員長 それは、分かります。1発で最初から投票して、良いですか。

推進委員 この中からある程度イメージ整理してから、4を出していった方がいい。4を1個出すのか2個出すのか分からないんですけど、そう思いました。

委員長 いきなり多数決にしてしまうと、乱暴になってしまうので、皆さんの思いを聞きたいところですし、子供たちの考えを踏まえて、このような絞り方でよろしいですか。一つ話を進めていっているところなのですが、4が広がってしまうと絞り切れなくなってしまうので、ある程度ここの中で4を絞ったらどうでしょうか。後は、最後皆さん議論出た中で、ある程度出尽くした場合は、もう神林・岩船・穂波もう幾つかの候補の中から、投票なのか、過半数を超えてなければもう一回、最後二つで議決を取るかが、一番よくあるパターンだと思いますけども、いきなりそこに行く前にある程度候補を絞り込まないことには、皆さんどう思います。そこで、神林・岩船は候補としてはある。まず一つ4の穂波のほかに何か、どうしても残したいとか委員からの候補が出た中でこれはというもの、ここに無いものを挙げてしまうと皆さんからアンケートを取った委員の意見が無かったことになってしまうのはどうなのかと思いますので、3つプラスもう1個その地域のイメージで何かあれば、

もう1つ加えるか加えないでこの3つで議論して、最後議論して決をとるかっていうところでございますが、地域イメージのところ、なければ穂波1つになりますが、どうでしょうか。

委員長 特になければ、地域イメージの方は穂波一択でよろしいですか。

副委員長 先ほどの話で、イメージっていうので例えばこういう感じ入れて欲しいなっていうのは、ないですか。このまま話進んじゃいますけど。

推進委員 だから、それじゃ対案が何かっていうと、それ考えつかないから黙っているのだけ。

副委員長 そうすると今回ちょっと話進めるにあたって、穂波っていう仮名ではありませんけど、そういうイメージの方向で、話が行くってなった時に、今一度神林さんとか平林さんとか、神納さんとかもう一回こんな感じで、こういうふうに入れて欲しい。検討するっていうようなタイミングを作ったほうがいいのか。もう岩中、神林中ていうのが、無しの体になったのであれば、例えばですよ。投票した結果ね。

推進委員 そう願えれば。

副委員長 そうなった場合は、地域イメージで学校名も決まりと、じゃあどういう名前にするかっていうところで、穂波とあと各地域さんのっていう形でやったほうがいいのか。

推進委員 岩船さんが、こだわりがあるのであれば、どこの地域もこだわりはあるけども、あれだけ言っているのあれば、地域のイメージで岩船も出せばいいのではないかと。それで、皆さんの総意を聞けば良いのでは。

副委員長 それでは、岩船の区長さん方、集まってどれ出すか。

推進委員 そうではないですよ。岩船の区長会と言ってますけれども、そういうことではなくて、個人的に前から言っているように岩船だから言っていると思われても仕様がなけれども、この地域は昔から。

推進委員 何回も言わなくてもいいから、分かりますので。この前も言ったから皆さん分かりますので。

推進委員 地域イメージとしては、外からの人もあると思います。穂波なんて言うと、どこにでもある訳ですので、それが地域イメージになるのかなという話をしたかったのです。

推進委員 個人と全体を分けて欲しいこともある。個人のことを言えば、皆言わなくてはならない。皆同じですから、そういう思い入れは大事です。

推進委員 これから、そのこの学校で育った子供も最初の2、3年はすったもんがあるかも知れないけども、何年かたてば岩船というところの、長い歴史があってそのことを受け継いできて、そういう思いがあって言ってるわけで、別に岩船を残したいと言ってるわけではないですよ。具体的にここで決まれば、当然従いますけども、ただこういう風に出てきた子供らの中でも、岩船というのを残したいという人と、神林を残したいと一番の数が多かったと小学校の子供の意見として、それに地域のイメ

ージとして、穂波とか海星とか具体的に例を挙げてこういうものだよと言ってそれを地域のイメージと感じたのかも知れないけども、親、大人としては、そういう緑だとか田んぼだとか、どこにでもある訳だし地域のイメージにならないのではないかな。対外的に第三者から見れば、岩船の方とかね、神林でもいいですよ。そっちの方がむしろ良いのかなと言う意見を出し合って、そうすればここでは、1番の方が良いねとなるのか。そういうふうに絞り込むこともあるのかと思って言っているのです。今でも、委員長が進めるように1番を残している訳ですよ。4番の中でもうちちょっと絞り込んで数を絞って、それで多数決になるのか知りませんが、やろうとしているけど、私は、それでいいと思います。意見としては、地域イメージとして本当に穂波とか海星とかどこにでもあるような名前がいいのかなと。

推進委員 岩船も地域イメージにいれれば。

推進委員 1番も4番もひっくるめて絞り込むのであれば、岩船も1番に入っているから、地域イメージに入れなくてもいいのではないですか。

推進委員 皆さんも学校への想いは当然あるかと思います。でも実際に私も経験しましたけど、小学校で変わったし中学校で2回変わりました。でも、それについて親世代や区の人達もここについては何も言いません。問題は、子供達のことです。今回は、年寄りが昔の小学校の名前はこうだった。今度は中学校がこうだったっていう、想いがあまりにも強ければ、話は進んでいかないと思うんですよ。前もお話したとおり、子供たちのためにこのアンケートを取り、じゃあまたここで新しい名前を考えると、何のためにアンケートを取ったのか。誰を大事にしているか。まったく見えてこないですよ。みんな大人たちの想いが強いものだから、今こうして話をしていますけど、これを一旦白紙にしませんか。子供達がこのアンケートで1と4が多かった。これを素直に考えて、進めたらどうでしょうか。地域イメージだったら、いろんなアンケートをいっぱいもらいました。その中から委員が選んだのが、穂波のほか3つありました。数が一番多いです。その中で、皆さんがこの中で責任を持って何か問題あったらここが責任を持つわけですから、誰が責任持つんだって、話がありましたけど私たちが責任を持たなければ誰が持つんですかね。ですから、挙げた学校名を責任持って、ここで今決めなければいけないと思いますよ。3つあったらこの代表にして次に進めるか、それともう1つを海星でしたか、これも2つあるから、2つ持っていくかということに進めたらどうでしょうか。なぜ自分達の今の想いをまず白紙に戻しませんか。あんまり強すぎると進みません。

推進委員 岩船小学校の6年に娘がいての個人的にもアンケートのことを気になっていたの、娘のところにもアンケートが来て岩船小学校6年、21人の少数の様子だったんですけど、新しい地域のイメージが多かったのが、子供たちの中で、穂波中学校、緑ヶ丘中学校、海星中学校が出た時に、すごいかっこいいじゃん。海星中学校かっこいい。穂波中学校いい名前だねと言葉があがってきていました。それを聞くと、子供たちの中でも新しい中学校にわくわく感とか、アンケートを自分達で取られたことで、出てきているのではないかな。やっぱりいろいろ皆さんの想いはあると思うんですけど、今決めてるのは、地区地域の変わる名前ではなくて、子供達が通う学校の名前なので、副委員長が言ったように子供達の意見を尊重するではないですけど、聞いていただければ保護者としても嬉しいかなと思います。アンケートを取った時の様子としては、それなので、一応その例に挙げた中学校名は、候補に入れていただければ、良いんじゃないかなと思います。岩船小学校のことで、どちらかの今の学校名、実際には岩船小学校の子が、やはり岩船中学校がいいって言うてる子もいるし、神林中学校がいいって言うてる子もいたっていう話なので、岩船小学校だから岩船中学校が自分たちの岩船中学校がいいと思っているのはちょっと大

人だけのイメージなのかな。もちろん、21人の中には、神林中学校でいいという子もいたので、そういう意見もあるのだなと思いました。

委員長 小学校、平林・神納は保護者で聞いた話とかありますか。

委員長 特にそんな話は聞いてないですか。分かりました。

委員長 議論出ましたけども、地域イメージのところは穂波が、まず候補として挙がります。あと出るとしたら海星といったところかな、今の既存の二つと穂波、海星の実際4つここで、候補として絞るということで、いかがでしょう。

委員長 なければ、はい。大丈夫でしょうか。ではこの4つにまず一旦絞るということをお願いしたいと思います。つきましてこの4つから最後、1つを選んでいくようになりますが、またひとつ聞いていくと想いもあるので、恐らくもう後は決めにかかってた方がいいと思います。そうすると、決を取っていった方がいいと思いますが、一旦この中で、それが過半数を超えてなければ、上位2点、もう1回決戦という2段階という決め方についてはそのような決の取り方でよろしいでしょうか。

推進委員 その決め方でいいと思うんですけども、先生方もせっかくいるのに先生方も中々言いづらいと思うけど縁があってこの学校に来て統合問題とかに携わっているわけだから、こういう風な話を聞いて率直な意見が、もしあったら聞かせてもらいたい。今みたいなやり方でやっていっていいのか。意見を貰えればうれしいなと思うんですけど。

委員長 校長・教頭どちらからでも良いですけど

推進委員 意見があれば、お願いしたいんですけど。ある意味客観的に見られるような立場かなと思ったんですけど、そうではないですかね。

推進委員 佐渡の時は、本当に吸収統合だったので、私の学校は名前もなくなって相手の学校の名前になりました。こっちに4月に来て皆さんからお話を聞いて、対等統合で新設ということで、私の意見としては、新設であれば新しい名前が、いいんじゃないかなと思っていましたが、皆さんのご意見を聞いて悩んでいるところもあります。

推進委員 私は、後は言いませんから一つだけ、言わせてください。岩船にこだわる訳ではないですけど、これから、また荒川と統合することを考えた場合に、また同じ問題出てくるわけですよ。この地域は、全体に岩船だから校名も岩船で、すっきりするのではないかと考えている訳です。以上です。

推進委員 どっちも勤務しているので、どちらの良さも理解している訳ですが、私自身のことと言うと、長津小学校の出身で、長津小学校は無くなったのですが、長津の名前が何で無くなったのかと思ってたんですけど、子供は小川に通っていて、小川小学校出身だよと言っているのを考えると、地域の名前というものも時代というものも一つあるのかなと思うところが一つですね。

委員長 4つ神林・岩船・穂波・海星ということで、挙がっておりますけども、では投票ということ。

市教委 投票用紙出しましょうか。

委員長 書いて入れて数が1回で過半数を超えていれば、一回で終了。過半数を超えていなければ、上位二つで決選投票です。

～投票中～

投票結果 1回目 過半数を超えていないため、上位二つ「神林」「穂波」で決選投票

2回目 「穂波」

委員長 では皆さんどうもありがとうございました。決選投票、穂波中11票ということで、統合後の校名は、穂波中学校ということでお願いしたいと思います。

委員長 では(1)議題について皆さま、よろしいでしょうか。

推進委員 はい。

推進委員 お願いがあります。この後、別の日に話があるのかもしれませんが、名前は今ここで決まった形ですけど、実際に今度新しい学校で、その名前が何でついたかという意味や、それから願いとか、ここに込めなければならないですよ。ただ、多数決で決まったからではなくて、ここで話し合っただけでここまで来たんですから、例えば、神林中が1位だった場合は何で神林になったのか、この委員の中でお互い納得していかないとまずいと思います。ですからこのことについて、校名はこういう意味で決まりましたよ、こういう願いがこれからの子供達にこういう願いを込めて作ったんですよというような中身をこれから入れていく必要があると思うんですよ。それを、ある程度この委員会の中で決めていってもらえばいいかなと思いますが、いかがでしょうか。皆さんご意見いただければと思います。

委員長 今日の決定事項の中ではお名前を決めるっていうとこだと思うんですけど。

推進委員 ですからその後、私が今お願いというか、これからその中身を、是非とも入れていただければと。

委員長 今後の議論の中でそれを入れていくということですか、今日はその議論しない。

推進委員 今日はどうこうという意味ではなくて、これから大事になっていくのではないかな。

委員長 名前とかストーリーということですか。

推進委員 はい。

委員長 それ各委員から持ち寄ってということですか。

推進委員 私もそうだと思う。名前を多数決で決めましたというのは。

推進委員 そうではなくて委員会で話し合った結果、これからの子供たちに、こんな願いで委員の人達が色々な意見があった。いままでもありました。ずっと話し合ってきた訳ですが、それで、結果的にこういう願いで決まりましたと、これからの新しい学

校に相応しい名前としてこんなふう決めました。それで、この地域、岩船と神林の子供達に相応しい名前ということで、決めた訳ですよ。そういうような、ストーリーですかね。そういうことについて、共通理解していかないとやっぱり委員会で話し合っていかなければと思うのです。

委員長        こちらは、これからの議題の中で名前のストーリーを議論する。

推進委員      今日すぐという意味ではない。これからまだこの委員会続きますけど。

推進委員      一番最初に校名のリクエストで出したと思うんですが、その時に理由を入れましたよね。

委員長        色々ありましたね。

推進委員      それと同じ形で、委員が今思うことを、言うだけでよろしいではないですか。改めて、立派なことを言わなくてはならないような、ニュアンスに聞こえるのですが、出ません。ですので、これを選ばれたことについて、こう思いましたというニュアンスでよろしいではないかと思いました。

委員長        であれば、今ここで考えたところで、出ませんので、皆さんこの穂波という名前についての、考えをまとめて来てもらえば次回とかそれを一人一人喋っていただくのが良いのか。出して一回事務局がまとめたものを皆さん見る方が時間的には、発表する時間が無くなってしまうので、委員の皆さんからレポートではないですけど、簡単な自分のイメージだとか書いてもらってまとめた方が、会としては決める場なので、発表するとなると時間が惜しいわけですから、集約して一覧する形でよろしいでしょうかね。

推進委員      いいと思います。

委員長        議論として持っていくと、次に決めなければならないこともあるので。

推進委員      前のここに書いてあります。

委員長        参照してもらってもいいと思います。自分なりに見つけたものでもいいですし、今でたものでも、新たに考えたものでも良いですから、用紙にでもまとめたもの例えば、グーグルフォームに打ち込むでもいいですけど、それまとめて一覧にした方がよろしいかと思うので、その段取り事務局お願いします。その説明、児童さん保護者に向けたものも大事ですので。

推進委員      どうやって校名が決まったかというのは問題ないですよ。ただ、校名に対する思いや願いを書くということですね。

推進委員      実際地域の人にも何らかの形でご案内する機会があると思うので、そうやっていただけると実際助かります。

委員長        これについては、公表はまだ出来ないでいいですよ。どの段階で事務局としては、議案の上程だとか、公表する場面とか。

市教委        この推進委員会で決まれば、一応のお知らせは出しているようです。

委員長        次の議事録がホームページにアップされた時でいいですよ。

市教委 　　少しタイムラグはありますが、学校統合だよりを教育委員会で出しておりますので、少し遅れたタイミングでこれに決まりましたとお知らせする機会はありません。

推進委員 　　じゃあ、例えば区の総会が、この日曜日にあるんですけどその時に言ってもいいですか。

市教委 　　そのタイミングだと、こちらは、便りを出せていないタイミングです。便り出すタイミングで今から何日に出したいということがあれば。

市教委 　　月末。

副委員長 　　ちょっとあれですね。何でその名前になったのとなった時に、思いがまだできていない。ちょっとまだ、言わない方が。

市教委 　　この込めた思いを皆さんと共有できてから、便りを出すということでよろしいでしょうかね。

推進委員 　　便りが出てからは大丈夫だね。

推進委員 　　もう一回集めてみる機会があるので、もう一回会議をやらなくてはいけないということで、よろしいですかね。皆さんが出したレポートを見て。

市教委 　　その思いを皆さんで共有してから、公表しましょうということであれば、もう一回集まりましょう。

推進委員 　　次回までに皆さん書いてくれば良いですね。

推進委員 　　思いを伝えるツールは、何ですか。

委員長 　　紙で出すのかグーグルフォームで出すのか。まず、一旦文章をこの名前について書いていただいて確認して、素案を書いていただいて、事務局でまとめたものを皆さんにお見せした方がよろしいのではないかと。さあどうしようといっても中々議論にならないので、素案はあった方がいいと。

副委員長 　　逆に、保護者という形で、一つ作っていいですか。

委員長 　　それでも、委員が出していることが分かれば。

副委員長 　　分かりました。

委員長 　　1週間程度で提出はグーグルフォームですか。記入だけにして送れば、あとは読み込んで今エクセルで表管理にできます。メールで良ければ、みんなメールベタ打ちで送ります。

推進委員 　　多分出来ると思います。

委員長 　　1週間目途で集めて、その案をまたもう1週程度でしょうか。素案が出てきた後

もう1回集まってその素案を見た中で、共有する場をもう一回どうするか。

市教委　まとめたものを文書協議で了承をいただくこともできますし、また会議を開催しますけれども。

副委員長　1回出してもらったの皆さんのやっぱり意見がいいねって言わない限りは、ここはこういうふうにするべきだと揉まなければいけないのは、責任の範囲だなと思いますが、満場一致であれば全然いいんですけど、でき上がった文面が、誰か一人でもうんと言う人が一人でもいれば、詰める作業必要だと思いますね。

市教委　再度お集まりいただいてということで。

委員長　ただそのところはその作業の条件来るので、1月末ってなかなか厳しいかもしれませんが。

推進委員　議会へは報告でいくんですか。議会に校名を報告するっていう形ですか。それともそこでまたひっくり返ったりするんですか。

市教委　議会は、学校設置条例の条例改正で議案を出します。

推進委員　条例の中に穂波中学校と名前が入ってくると、そうすればそんな心配は無いわけですね。

市教委　反対される議員もいらっしゃいます。

市教委　この委員会でこういうふうな意味を込めてこの校名したんですといえよ。

市教委　統合だよりが出ればいいわけですよ。

委員長　議案上程条例の議案上程は9月、11月。

市教委　3月としています。

委員長　議案としては1月に挙げるわけですよ。

市教委　1月末が締め切りです。

委員長　議案配布はいつですか。

市教委　2月の中旬です。

委員長　その前には決めておかなければならない。

推進委員　提案ですけども、もしそのためだけに集まるのであれば、皆さん大変だよ。他のものと一緒にあればいいですけどね。そのためだけに早めに集まるのであれば、出来たものだけ廻してもらって、意見ある人は、ここに入れた方からどうかという風にして回収してもいいかなと思うんですけど、それでも事務局で決められないと判断して開かなければならないとなればしょうがないんですけど、そんなやり方でも良いんじゃないですかね。ほとんどここに書いてあることを受けて、投票した訳ですから。

委員長       であれば、どうしても開催を求めるのであれば、文書にチェック欄をつけて、自分の意見だったんだけど次結果見たときに、これであればここ直してくれで良いのか。やっぱり会を開いてくれとなると次の2回目の例えば、開催の可否について、無ければチェックしない。

推進委員     このままで良いチェック欄を設けましょうか。それでも16対1とかだったらその1をどうするか確認しておく必要がありますか。

委員長       事務局どうですか。

市教委       個別に。

委員長       それが過半数を超えてどうしても、開かなければという意見が出れば。

推進委員     委員長副委員長に任せます。

推進委員     もちろん想いの部分も語り継がれていく大事な部分だと思うのですが、今回の「たより」以外でずっと引き継がれるようなもの字面にして残るようなものがありますか。

市教委       開校の時に何かこう入れたりするかも知れませんね。

推進委員     新しい校名に法的に入れなければ駄目だということではない。

委員長       続きまして、議題2 二校会議の運営部会の方を、PTA部会の進捗状況について報告をお願いしたいと思います。まず運営部会の方から、お願いします。

推進委員     私の方から、ご報告したいと思います。この前もお話ししましたが、子供たちのアンケート結果、職員それを基にして、職員両校の全職員が混合の小グループに分かれて、どんな生徒を育てたいか、教育目標に入れたい言葉などを話し合いました。その資料を基に、両校の校長教頭教務主任6人で候補を作りました。4つの候補を作って、それを再度全職員に戻して、いいかどうかということで、投票しました。ここに出ているねばり強く「思う 学ぶ 挑む」、「自立 協働 挑戦」が1番2番だったのですけれども、それを基に校長教頭が集まってどういう風な意味を持って、どれにするかとなりまして、最終的には提案は職員の方には、発表していません。ねばり強く「思う 学ぶ 挑む」これにしたいということで、別紙の方に一応、ここに込めた思いということで、書かせていただきました。ねばり強くというところが、3つの言葉にかかる。実を言いますと岩船中学校の教育目標と神林中学校の教育目標の中に同じものが出てきますので、これを合わせた形もあると思うのですが、順番も思うを最初にして、全部読むと時間が無いので読んでいただきたいのですが、こういう風な子供達を育てたいことと、身に着けて欲しいということで生きる力の要素を力にしてということで、「思う 学ぶ 挑む」に込めた思いということで、書かせていただきました。

委員長       報告ということですので、何か質問というのはどうでしょうか。今ぱっと読んでも、まだ決めているところなので。

推進委員     ただ職員には最終発表していません。ここでここがおかしいとのご意見があれば、訂正するということになるかも知れません。

委員長       ねばり強く思う学ぶ挑むというところで、私から質問させていただきますけど、順番を変えたのは何かありますか。

推進委員     やはり、中段のところにあります。これからの社会を生き抜くために重要な姿として、人と人とのつながりや関わり、協調性を大切にする「思い」を第一にして、それを基盤にしてその上に学び挑戦するというようなそういう姿を目指したいと神林中学校は今学ぶが先ですけれども、思う心を土台としてその上にしたいという職員の中の意見でした。

委員長       ありがとうございます。皆さま今でました教育目標について、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

委員長       次点候補の自立協働挑戦とありますけれども、ねばり強く思う学ぶ挑むで、いきたいということで、よろしいですか。

推進委員     職員の投票数でも、こちらの方が多かったことになりましたし、今これを基にして目指す生徒を作っていますが、それとグランドデザイン中に自立とか協働とか主体的とか、そういう風なものを入れていく。

委員長       教育目標としては、こちらの方として入れていくということで。

委員長       なければ、このまま進めていきたいので、では続きまして、これについては一応承認の決を取った方がよろしいですか。それでは、皆様承認いただける方は挙手をお願いします。いかかでしょうか。

～ 賛成多数 ～

委員長       皆様、はい。ありがとうございました。過半数超えました。承認といたします。次に PTA 部会というところで。

推進委員     はい。すみません。資料持ってきませんでした。役員組織をどうするかということで、第2回のPTA部会を開きまして、そこで検討させていただきました。それによると、いわゆるトップオブトップといえいいのか三役会的な感じのネーミングをまだハイカラなのはあるんじゃないかと思うんです。小学校からお二人来ていただいて、その方々がそれぞれ二年間やっていく中で、互選により会長副会長を決めていくと、副会長は必ず各小学校から選ぶということなので、宛て職となる場合にも、会長でなくても副会長でも出来ること可能なようにさせていただくことにいたしました。6人その下に専門委員会としては、各学年の委員会を設ける、そこにも各小学校から2名選ばせていただくようにしてから最終的にPTAの役員組織は、執行部が今ほどの学年部を含めて24人、ここに会計監査を加えて26人の体制でいくということを提案させていただきたいと考えております。これに沿うような形で規約の素案を作ろうとしていて、PTA部会第3回を2月5日の日に予定しておりますけど、こちらの方で提案させていただくことにしている予定でございます。その後、事業という話は進んでいません。カバン・内履きについては、これから商品の選定等には入るかも知れませんが、指定のものとするので確認をとっています。その中で制服と体操着については、今注文が始まっている6年生に聞くのは酷だろうということで、3年生以下に聞いちゃうと自分で判断できないだろうということから、3小学校の4、5年生に依頼をしてPTA部会の方々から承認をいただいているので、写真を提示したうえでどっちの制服が良いですか、新しいものが良い

ですか。どっちの体操着が良いですか。それとも新しいのが良いですか。3択でアンケートを取っている途中であります。こちらの締め切りが1月16日となっているので、それが出てきましたらPTA部会の方で決めていきたいと思っていますところです。どちらかにするという事も選択肢としてありますので、そうすると選定をこれからしていくことも、必要がなくなる。新しいものとなった場合は、業者にいくつか作ってもらってというステップを踏んでいく可能性はありますけれども、よろしくをお願いします。

委員長 今出たPTAの組織については、執行部と学年役員含めて数が24、監査含め26、規約の細かいところはこれから詰めていくというところですね。事業については、岩船もありますし、神林にもウォークラリーとかどうするかまだ具体的な話は進んでませんが、これから詰めていくという状況をかばんと靴については指定で、制服については、今現在アンケート結果待ちというところで、2月5日にまた部会の方で協議していくと。これについてはちょっと今、中身の方で資料がないというところだったんですけども、こういった形の流れで進んでいるというところで、この進め方をしてるところについては、部会の方で作って今進めていますので、特段この進め方何かご異議等なければ、このように進めていきたいと思いますが、特に皆様、ご意見ありますでしょうかね。

推進委員 なし。

委員長 引き続きまた部会の方で進めて、特に制服に関しては皆さん特に興味あることだと思いますので、それが決まりましたら情報を出していただいて、具体的にこの推進委員会の方で提示していきたいと思いますので、よろしくをお願いします。では本日議題1、2ということでありがとうございました。他にその他となりますが、事務局、何かありますでしょうか。

市教委 はい。そうしましたら、先ほど検討していただいた穂波中学校について、願いですとか想いをまとめた後で、次回委員会をするかどうか。その議題だけで集まるのは大変だろうという、ご意見もありましたので次回委員会するかどうかについては、委員長副委員長に相談して決めたいと思います。委員会するにしてもしないにしてもご連絡さしあげたいと思います。

推進委員 実際やるとしたら、いつになりますか。

市教委 1月中にやらないと多分、間に合わない。

推進委員 これをやるための有無はいいとして、今回は推進委員会そのものがいつになりますか。

市教委 次にこの委員会として検討していただかないといけないのは、校歌をどうするかとそういった話に進んでいく訳ですけど、そこに進むには、先ほどの話にあった議会で条例改正が通ってからの方が、流れとしては。校歌については、議会の条例改正の後に次の議案として、出さなければと思っております。3月議会としては4月以降。とりあえず計画上は、動いていました。

推進委員 前回会議の準備日程(案)ですと5月12日ですね。

市教委 計画上は、5月にしています。

委員長 ちょっと間が空いてしまうと忘れてしまわないようにしないと。

副委員長 それ以外に部会の進捗状況とか。

市教委 部会の進捗状況で報告することがあれば、委員会は開かれると思います。

副委員長 ちなみに今話の合った校歌最初に聞きましたけど、この名前になりましたとなった時は、どうするのか。議会で決まったからどうしますか。これで押していくから、議会の返事を待つ前にどうするっていう話を持っていく形にするんですか。

市教委 誰に頼むかは、議会で諮る前にも決めといても良いのかな。

副委員長 期日が、またキツキツになって、11年ですとかってならないように、その時私はいるかどうかあれなんですけど。もしそういうのも前提で、例えば、神林さんとかの。

市教委 前回、修正した計画書ありますが、その通りに進んでいけば令和10年4月の開校は進んでいけるはずなのですけれども。

推進委員 5月の推進委員会で校歌校章の作者決定となっていますけど、その前に話し合っておかないと、本来1月の末に校歌校章の検討を行う予定であった委員会はもう一回位やる予定ですか。3月位にもう一回開催して。

委員長 5月ですと4カ月経ってしまうと、役員もこちら側は代わるので、私は引き続きいると思いますけども。

副委員長 ちなみに校歌どっちを使うというのは、どうするというのは揉まないといけない話になってくるわけですよ。校歌だけで言えば、校歌の曲は、すごくよかったから曲は神林さん使うけど詩は、例えば岩船中学校の詩をうまく、当て込むようなことをやるという話し合いは、ここではしなくて、あくまでも誰かに頼んで誰かに作ってもらったものをみんなで聞いて、いいねっていうので決めていくのか。そういうところからまず決めないと駄目なんじゃないですかね。

市教委 そうですね。

副委員長 2月は多分道足も悪いので無理してまで、やりますよっていうのはやっぱり無理があるので、3月にこういうことやりますよというのは、委員の皆様にはそれをご承知いただいた上で、新しい人に頼むというのか、意見を持って来ていただければ時間もそんなにショートしないですむと思うので、そういった形のことで次回っていうのは、議題ではないですけど、検討していただきたいっていうものを持った上で、ご参加くださいという形で、話進めていただければと思いますね。

委員長 臨時の会議があるかどうかは分かりませんが、皆さん、3月の委員会は開催するものとして考えています。3月には校章と校歌についての決定方法を話し合いたいと思いますので、資料をご用意いただければ幸いです。両校の校章や、校歌の歌詞も事前にいただけると助かります。3月にそのような委員会を開催したいと考えていますが、皆様はいかがでしょうか。4か月後に開くよりも、この時期に開催する方がよいのではないかと思います。

推進委員 異議なし。

委員長 臨時会を挟むかどうかは検討しますが、次回委員会は3月位ということで。

副委員長 3月は、結構早目に日にち、もらってもいいですか。色々なやつが、色々入っちゃうとしんどいので。

委員長 本日の議題は以上となります。大変どうもありがとうございました。閉会の挨拶を副委員長の方から。

副委員長 皆さんお疲れ様でした。以上をもちまして、第5回岩船神林中学校統合推進委員会を閉会いたします。足元悪いので皆さんに気を付けてお帰りくださいますようお願いいたします。お疲れ様でした。